

県南保健所感染症情報

令和8年 第 24 週

令和8年6月8日 ~ 令和8年6月14日

【発行元】長崎県県南保健所 地域保健課 TEL:0957-62-3289

◆◆定点把握の対象となる5類感染症 発生状況◆◆ (定点当たり患者数)

定点	疾病名	週別 発生状況						国・県・県南 発生状況						基準値		
		県南保健所						第 24 週						警報レベル		注意 報レ ベル
		22 週	23 週	24 週	22 週	23 週	24 週	全国	長崎県	県南保健所	開始	終息				
	インフルエンザ定点	0.00	0.00	0.50			0.07	0.04	0.50			30	10	10		
	COVID-19	0.00	1.80	11.00			0.58	2.40	11.00							
	急性呼吸器感染症 (ARI)	23.00	22.40	42.75			47.05	57.50	42.75							
小児科 定点	RSウイルス感染症	4.67	6.00	13.00			0.35	2.58	13.00							
	咽頭結膜熱	1.67	1.00	0.33			0.60	0.68	0.33			3	1			
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7.67	6.67	12.00	警報		2.58	3.45	12.00	警報		8	4			
	感染性胃腸炎	0.33	1.33	1.00			4.94	3.35	1.00			20	12			
	水痘	0.00	0.00	0.00			0.44	0.52	0.00			2	1	1		
	手足口病	0.00	1.00	0.00			2.75	9.55	0.00	警報		5	2			
	伝染性紅斑(リンゴ病)	0.00	0.00	0.00			0.06	0.03	0.00			2	1			
	突発性発しん	0.00	0.00	1.00			0.35	0.55	1.00							
	ヘルパンギーナ	0.33	1.00	0.67			0.66	0.68	0.67			6	2			
眼科 定点	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	0.00	0.00	0.00			0.04	0.00	0.00			6	2	3		
	急性出血性結膜炎	2.00	警報	0.00	0.00		0.01	0.00	0.00			1	0.1			
	流行性角結膜炎	0.00	2.00	6.00			0.47	1.25	6.00			8	4			
基幹 定点	細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00			0.01	0.00	0.00							
	無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00			0.04	0.00	0.00							
	マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.00			0.21	0.08	0.00							
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	0.00	0.00	0.00			0.01	0.00	0.00							
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスであるものに限る)	0.00	0.00	0.00			0.03	0.00	0.00							

◆◆全数把握対象感染症 発生状況◆◆

※報告日掲載 (県作成速報:診断日掲載)

一類感染症	報告なし
二類感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症	報告なし
五類感染症	報告なし

◆◆トピックス・季節情報◆◆

☆A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告が警報レベルを超えました

県南保健所管内の定点当たり報告数が「12.00」となり、警報レベルを超えました。県内で最も多い報告数となっています。本疾患は、A群溶血性レンサ球菌による上気道の感染症で、学童期の小児に多いとされています。主な感染経路は飛沫感染および接触感染です。マスクを着用する場合は鼻と口にしっかりフィットさせましょう。人は無意識に顔を触ることが多く、手に付着した細菌が口や鼻などから体内に入り、感染につながる場合があります。こまめな手洗いを徹底しましょう。手洗いができない場合は、アルコールを使った手指消毒も効果的です。

☆手足口病に注意しましょう

手足口病は、その名の通り手足や口の中に水疱性の発疹を主症状とする急性ウイルス性感染症で、例年、主に夏季に流行します。好発年齢は幼児期から学童期にかけてですが、大人でも感染する可能性があります。基本的に予後は良好な疾患ですが、まれに髄膜炎等の重篤な合併症を伴うことがあります。

長崎県では第23週以降、警報レベルの状態が続いています。県南保健所管内では定点当たりの報告数は警報レベルに至っていませんが、今後感染が拡大する可能性があるため注意が必要です。

感染経路は主として飛まつ感染、接触感染、糞口感染(便と一緒に排泄されたウイルスが口に入って感染すること)が知られています。こまめな手洗いをし、タオルの共用は避けましょう。回復後もウイルスは長期にわたって、便から排出されることがあるため、特におむつ交換、トイレの後は、石けんによる手洗いを励行しましょう。

●地域保健推進課「手足口病の流行警報の発表について」

<https://www.pref.nagasaki.jp/press-contents/48758.html>